

Vories
cure&care



ヴォーリス
だより

発行 毎月 1日
発行者
ヴォーリス記念病院
三ッ浪 健一
近江八幡市北之庄町492
TEL (0748) 32-5211
印刷
(有) 東呉竹堂 (ひがし印刷)

病院ホームページアドレス
<http://www.vories.or.jp/>

2017年(平成29年) 6月1日 第120号

『いよいよスタート！圈内初めての 看護小規模多機能型居宅介護事業』

看護小規模多機能型居宅介護

友愛の家 ヴォーリス 管理者

(在宅サービス部門長 兼務) 向 美 保



いよいよ『友愛の家 ヴォーリス』のスタートです！

昨夏より準備を始めてきました県内5番目、東近江圏内初の看護小規模多機能型居宅介護事業です。この事業は、以前にも掲載していただきましたが、「訪問看護+小規模多機能型」事業で、要介護1～5に認定された方々が利用していただける介護保険の事業です。4月15日に無事竣工式を終え、5月1日よりスタートいたしました。おかげさまでたくさんの方々が見学に来て下さり、登録9名でのスタートとなりました。現在では、さらに数名のご利用のご希望もあり、事業開始にしては有難い程の好スタートです。

地域の皆様のご理解・ご支援をいただいたこととタイトなスケジュールの中汗を流して下さった工事関係者の皆様方のご尽力に改めてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

私たちは、在宅で療養されておられるご本人はもちろん、在宅での介護に不安を持たれていたケースや介護のためにお仕事を辞めざるを得なかったご家族のことを振り返り、利用者様だけでなくご家族にとっても何とか私たちができることはないかを考え、この事業の新設を進めてきました。「泊まり」「通い」「訪問(看護・介護)」の全てを担う総合的サービスで、近江八幡市内の認知症の方をはじめ、難病や医療依存度の高い方々やそのご家族が安心して「我が家」で暮らしていただけるよう「S:最期まで」「N:温もりのあるケア」「Y:寄り添う」のコンセプトで進めてまいります。地域の皆様やボランティアさん、子どもたちとの交流も含めて「第2の我が家」になるよう職員一同頑張ります。また、「ヴォーリス医療・保健・福祉の里」にある様々な施設との連携もしながら近江八幡の皆様が「安心して」暮らしていただけるように努めていきたいと思っております。

どうぞ今後ともご支援の程よろしく願いいたします。

最後になりましたが、今後ご見学を希望して下さる方はご連絡お待ちしております。

(Tel. 0748-36-5474 担当: 向、石井)



**敷地内全面禁煙です。
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。**

今
月
の
聖
句

「神よ、わたしを憐れんでください。」

旧約聖書 詩編 56篇2節

チャプレン 安部 勉



「憐れみ」という言葉をどう思われるでしょうか。辞書を見ると「かわいそうな思い」とあります。そして「同情」という言葉も類似語として上げられています。

憐れみという言葉に私は人の思いに「寄り添ってほしい」「分かって欲しい」という訴えや願いが込められているように感じます。

旧約聖書で使われている「憐れみ」はもっと具体的です。それは「母親の胎盤が剥がれるような思い」であったり「はらわたがちぎられるような思い」という表現です。気持ちでは「痛み」を想像することは限界があります。「はらわた」や「胎盤」が切り離される身体の「痛み」を想像するだけでも痛みによる辛さが伝わってきます。

今月の聖書で取り上げた詩編の詩はダビデがサウルという王から追われ、ユダヤの民にとって敵であるペリシテ（今のパレスチナ）民族の地に逃げ、囚われた時に歌ったと描かれています。

追われる恐怖、そして敵地へ逃れて捕らえられてしまい一時も安心できない中において、孤独を覚えたものでしょう。ダビデは詩を通して自分の置かれた境遇の苦しみを語ります。そして弱さを晒しこのようにもうたいます。

「あなたはわたしの嘆きを数えられたはずです。あなたの記録にそれが載っているではありませんか。あなたの革袋にわたしの涙を蓄えてください。」

神さまの前に率直に嘆き、その嘆きを神さまはすべて記録さ

れていると言い、嘆きの涙を溢れんばかりに流したのだ、と。

神さまとの関係は「契約」である、と考えるユダヤの民。それは他の民族とは違う特別な出来事です。しかし、神が示す現実にはユダヤの民が平和に穏やかに過ごす日々を約束するものではありませんでした。私たちが敵に攻められ、迫害を受けたならば「なぜ神さまはそのようなことを許すのか」と神さまへと訴えるより「だから神などいないのだ」と思うものです。

神に選ばれたとの意識、ダビデが歌ったように大国の前に無力な存在であるならば傲慢な振る舞いをするのではないでしょう。しかし、巨大な武力や政治的な権力を握った時、神の名によって人々を迫害し、正当化してしまう愚かさを持ち合わせるものです。

改めて苦しみや困難な時、神は「憐れみ」をかけてくださると信じることで、それは母親が子どもを思う気持ちと重なります。大切にされ愛されていることを知っている母親は子どもへの愛情も自然と注がれることでしょう。そして子どもの苦しみや悲しみ、孤独な思いを知るならば母親として「抱きしめたい」との思いになるでしょう。

ダビデにとって「神さま」とは自分のことを心にかけてくださっている、との固い信仰のうえに人生を歩むのです。喜怒哀楽、すべて神さまと「共にいる」ことにダビデは自分を支えていたのでしょう。



ヘルシークッキング 6月

穴子の押し寿司 (内15.3×7.5cm押枠使用)

エネルギー 362Kcal たんぱく質 11.6g 脂質 5.7g (1人分)

【材料 (4人分)】

- ・米 280g
- [A]
- 水 1と1/2カップ
- だし用昆布 (5cm角) 1枚
- [B]
- 米酢 大さじ2と2/3
- 砂糖 大さじ1と2/3
- 塩 小さじ2/3
- ・あなご白焼き 160g
- ・酒 小さじ2
- ・生姜 4g
- ・大葉 2g
- [C]
- 醤油 大さじ2
- 酒 大さじ1
- 砂糖 大さじ1と2/3



(作り方)

1. 洗った米はザルに上げて30分ほどおく。炊飯器に米、Aを入れて炊く。炊き上がった後昆布を取り出し、軽く混ぜる。Bを混ぜ合わせ、ご飯に加えて切るように混ぜ、寿司飯を作る。
2. 鍋にCを合わせて煮詰め、タレを作る。生姜、大葉は短めの千切りにする。
3. 穴子は頭を落とし、押し型の長さに合わせて切る。耐熱容器に入れて酒をふり、ラップをかけて、電子レンジで約1分30秒加熱する。(加熱時間は4人分の目安)
4. 押し型に1の寿司飯を敷いて大葉を散らし、再度1を敷き詰めて生姜を散らす。3の穴子を乗せて上から強く押し、取り出して切り分ける。器に盛り付けてタレをかける。



関西で古くから好まれ、すし種や天麩羅、煮物などの他、吸い物にも重宝される「穴子」。関東でも「江戸前の穴子」は有名ですね。魚の中でも「穴子」と変わった名前を持ちますが、これは昼間岩穴や砂泥の底に潜り、夜間に活動する習性から「穴子」という名前が付いたと言われています。

穴子の旬は6～8月頃です。脂肪が多く美味ですが栄養面でも優れた魚でもあります。特にビタミンAが豊富に含まれていますが他にもビタミンE・B2・D、カルシウム、カリウムなどのビタミンやミネラルに不飽和脂肪酸のEPA・DHAなど様々

な成分が含まれています。

ビタミンAは皮膚や粘膜を健康に保ち、薄暗いところで視力を保ちます。また、肌に潤いをあたえ、ビタミンEとともに老化防止に働きかけます。EPA・DHAには血中の中性脂肪や悪玉コレステロールを下げる性質があり動脈硬化の予防にも効果があります。

これから迎える夏の本番に向けて穴子を食べて栄養補給し、厳しい暑さに備えてみてはいかがでしょうか？

つらら ヴォーリス記念病院 創立100周年に向けて

当院は今から99年前の5月、「近江療養院」という結核療養所として開設しました。来年で100周年を迎えます。近江八幡の地で100年という月日、地域の皆さんに基督教の理念に基づき医療や介護、福祉の働きを担って来ました。来年の100周年に向けてこのコーナーでは病院に関連するトピックをご紹介します。

第3回

法人本部 嘱託研究員 芹野与幸

1912年、それは明治から大正へと時代変わる頃のことですが、米国から東洋諸国を訪ねて旅する婦人たちが京都を訪ねてきました。一行は最近夫を亡くしたばかりのハープス夫人、父を亡くしたばかりの姉妹、そして彼女と同じ教会の友人を伴っての4人連れでした。一行は日本の古都京都を楽しみ、親しく交わりのあった京都YMCAにいたフェルプスさんを訪問しました。さまざまな楽しい語らいの後、彼女はふと同じデンバーの教会で「日本への宣教」という夢を語っていた青年のことを思い出しました。『…確か数年前のことだけれど、私の教会にいて、伝道の志をもって日本に渡った青年がいるのだけれど、ご存じないかしら？メルル・ヴォーリスという名前だけれど…』フェルプスさんは飛び上がるほど驚いて『ええ！もちろんよく知っています。ここから車で「八幡」という琵琶湖に近い小さな町で頑張っていますよ！』『それなら是非訪ねてみたいわ』～八幡を訪ねてきた婦人たちはヴォーリスたちの語る情熱的な話に動かされ、京都に戻る途中の郵便局から、すぐ多額の寄付（献金）を贈りました。その献金でヴォーリスは地域の人々を助けた池田町にある近江ミッションの土地を得ることができました。婦人たちが後に再び八幡の地を訪ねた時、ヴォーリスは地域の人々を助けるため医療事業を始めるという夢を語りました。同行者の一人ミス・ツッカーさんは、当時日本でも流行っていた結核で母を亡くしていたので、これを聞いて大いに共鳴し、「母の記念」として多額の献金を寄せてくれました。ヴォーリス記念病院の一角にある「ツッカーハウス」と呼ばれる病棟は、この献金をもとに建設されたのです。

健康について

ホスピス 増田友佳子

健康という言葉が普段あまり意識せず、むしろ当たり前なことと思いついてきました。

年齢を重ねるにつれて、健康を維持していくことの大変さ、健康で過ごすことのありがたさを感じます。特にこれ！！という健康法はありませんが、とにかく明るい気持ちで過ごすことを目標にしています。ストレスをためない、自分一人だと思わない、家族や友人を大切にすることも一つかもしれませんね。ホスピスで働かせても

らっている中で、家族愛や人と人とのつながりを日々感じます。どんな薬より、どんなサプリメントよりも効果的な力ではないでしょうか？

健康とは身体だけでなく、心も健康でないとバランスが保てないと思います。心身共に健康で過ごせるように、これからも明るく前向きに、身体もいたわりながら頑張ろうと思います。



新着任医師紹介

医師 野浦素

初めまして。この度回復期リハビリテーション病棟を担当することになりました野浦です。初めましてと言っても、実は十年くらい前から非常勤としてエコーと内視鏡を担当していました。新任という感覚はないのですが、新着任の紹介をと言うことで一筆啓上。

元々の専門は消化器外科なのですが、我々の頃は今のように細分化されておらず、お互いの垣根も低く、赴任先によって心臓外科、脳外科、胸部外科、整形外科などの手術にも携わってきました。胸腔鏡手術、腹腔鏡手術も行いましたが、肝臓、脾臓などの手術を腹腔鏡下で出来るようになるには、もう一度そういう施設に戻って訓練し直さなければなりません。人の流れから言って戻るのには難しいと思い、外科以外のことにも目を向けてみようと思いました。今まで勤めていた京都では、数年前から回復期リハビリテーションということが言われてはいましたが、まだ実践する段階には至っていませんでした。

最近、自宅と病院の間的高速道路が完全に繋がり、時間的には通勤圏内に入りましたが、それまでは、病院周辺は風光明媚な所が多く、土塀造りの家も散見され、こういうところに住めたらなあとか京都への行き帰りに思っていました。趣味は色々ありましたが、全てに共通するキーワードは「楽しんで体重を落とす」です。水中をゆらゆら泳ぐスキューバダイビングはその典型と思いましたが、行く先々のスポットにはその土地ならではの美味しいものが待ち構えていて、かえって体重が増えました。乗馬もやりましたが、走ってるのは馬だけで、私はその上に座ってるだけですので、あまり運動になりませんでした。ダンス大会でよく優勝し、非常にスマートな私の姉を見て、ダンスも始めましたが全くスマートになりません。姉に聞くと、ダンスでスマートになったのではなく、ダンスをするためにスマートになる努力をしているのだということでした。それを早く言って欲しかった。

思いつくままに書いてきましたが、紙面も尽きたようなのでまたいつか。

報告1

友愛の家 ヴォーリス」竣工式

管理課 小松 知史

4月15日に5月1日オープンの『友愛の家ヴォーリス』の竣工式が行われ、私は式典の司会をさせていただきました。今まで全く経験のない役割を担い、非常に緊張しました。うまく舌が回らない所もあり、恥ずかしい思いもしましたが、これも経験と思い、何とか無事に進行することができました。

この日に至るまでには、友愛の家ヴォーリス管理者の向在宅部門長をはじめ、たくさんの方が関わり、各セクションでこれ以上ない力を発揮して辿り着けた日だと感じます。その晴れの日、司会という形で関わることができ、微力ではありますが、少しお役に立ててうれしく思っています。

式典終了後には、施設の内覧会や茶話会が催されました。茶話会にて、ご出席いただいたお客様の喉を潤していただき、和やかな雰囲気の中で様々な情報交換をしていただけたと思います。

これで新事業のスタートは切られました。19名のスタッフでの船出となります。スタッフの皆様が持てる力を最大限発揮していただき、地域に愛され、なくてはならない『友愛の家ヴォーリス』に成長するよう祈っております。私も事務方として、心から応援いたします。



報告2

「看護の日」

ホスピス 太田 智哉

看護の日（5月12日）に、病院正面玄関入口内にブースを設けて、血圧・血糖値測定・介護予防相談などを行ったところ、半日でしたが40人を超える方々にご参加頂き、参加者には粗品のメディカルクリームをお配りしました。

他にも各病棟紹介の掲示物を貼り出していました。（～5月17日まで）又、各病棟では、入院患者様に向けてメッセージカードをお渡ししました。



報告3

第88回 恒春園 記念式

チャプレン 安部 勉

近江兄弟社グループ（公益財団法人、株式、ヴォーリス学園、一粒社建築事務所）では、天に旅立たれた社員、およびご家族の働きを覚え、毎年5月7日以降の最初の土曜日、「恒春園 記念式」を実施しています。今回で88回目を迎えました。今年も5月13日に恒春園納骨堂、およびヴォーリス学園平和礼拝堂で行われました。

北ノ庄に建てられた納骨堂には、創立者ヴォーリスはじめ近江兄弟社の働きのために尽くされた方のご遺骨が納められています。今年も新たに納骨のため納骨式を行いました。

また、会場をヴォーリス学園に移し「記念式」を行いました。礼拝に引き続き今年は「宮本謙二さんアンサンブルコンサート」でした。ファゴット奏者の宮本謙二さん、クラリネットの延原弘明さん、ピアニストの中さわさんによる演奏でした。宮本謙二さんのお祖父様はヴォーリスが最初に赴任した県立商業学校（現八幡商業高校）に在学していた宮本文次郎さんです。ヴォーリスの書いた「失敗者の自叙伝」に、赴任翌日、宮本さんから「クリスチャンですか」と訪ねられ、ヴォーリスが感動したと描かれています。

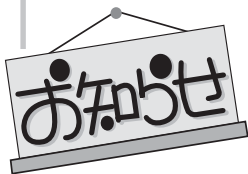


報告5



第249回 ミュージックタイム

さる2017年4月22日、「第249回 ミュージックタイム」を3病棟で開催いたしました。今回は「ニコニコアンサンブル」の皆さんによる二胡の演奏でした。優雅で大陸の雰囲気が伝わる素敵な演奏でした。

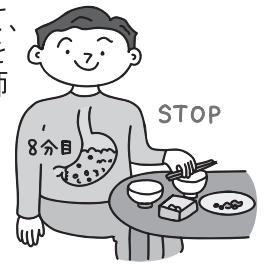


▶ 糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで月に一度、木曜日に糖尿病、生活習慣病に関して、実際の食事をご用意し、病気の知識や治療法に関する教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日時 6月22日(木) 12:00~13:30 場所 新館研修室(病院内)
講師 管理栄養士

主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申し込みが必要です。



働く仲間を募集しています!

★看護師・訪問看護師・介護福祉士

“ケアの喜びを一緒に
感じませんか。”



詳細はお問い合わせ下さい。TEL 0748-32-5211(担当:澤谷)

近江八幡市介護予防拠点事業

ヴォーリス介護予防教室のご案内(平成29年度)

開催日程表

回	日程	内容	担当・講師
2	7月27日(木) 14:00~16:00	「おりがみ教室 PART XⅢ」	ヴォーリス老健センター 施設長 鈴木 輝康 氏
3	9月28日(木) 14:00~16:00	「訪問診療の実際」	ヴォーリス記念病院 医師 ミツ浪 健一 氏 (公益財団法人 理事長)
4	11月16日(木) 14:00~16:00	「あたまの体操」	ヴォーリス老健センター 作業療法士 野澤 幸江 氏
5	2月22日(木) 14:00~16:00	「ひとり暮らしでも 最期まで我が家で」	訪問看護ステーションヴォーリス 在宅看護専門看護師 田村 恵 氏

- ①対象者 おおむね65歳以上の方 定員:30名
- ②場所 アンドリュース記念館(旧YMCA会館)
近江八幡市為心町中31番地(近江八幡教会の隣)
- ③参加費 無料
- ④申し込み 2回目7月25日(火)までに往復ハガキで
①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡先電話を
記入の上、下記の係りまでお申し込み下さい。

〒523-0806 近江八幡市北之庄町492
ヴォーリス記念病院内 介護予防教室係 まで
お問い合わせは、ヴォーリス記念病院内
ホームヘルパーステーション
担当 生駒・田井中治美
(Tel 32-7130 Fax 36-5458) まで

患者支援センター

患者様やご家族様に住み慣れた生活の場で、安心して療養生活を
送って頂けるようサポートします!!

- ・健康保険、介護保険等の社会保障制度について
- ・在宅での生活、介護についての不安
- ・施設の入所や利用について
- ・地域の病院・開業医の皆様からの受診・入院依頼
...等

お気軽にご相談ください!

TEL (0748) 32-5211 (代)
FAX (0748) 36-5412 (直)
E-mail info@vories.or.jp (代)

※センターは正面玄関入って左側にごさいます。

お知らせ

メディカルフィットネスセンターヴォーリス 会員募集中

あなたの健康づくりをサポート

元気な方は体づくり 病後の方は体力回復
沢山の方がご利用されています。



営業日と時間

	月	火	水	木	金	土	日	
9:30~	デイ	市委託	○	デイ	市委託	---	---	利用料金 入会金 3,750円
12:00								
13:30~	○	○	デイ	○	○	---	---	月会費 週3回以上 8,208円 週2回 5,400円 週1回 3,024円
17:00								
17:30~	---	○	---	---	○	---	---	
20:00								

*デイ=介護保険サービス 市委託=市から受けている委託事業 ○=会員制による実費サービス

休館日

土・日・祝・年末年始など または当センターが特別に定めた日

〒523-0806 近江八幡市北ノ庄町492 ヴォーリス老健センター1階
電話 0748-32-5540 ファックス 0748-32-5541

健康生活について「出前講座」のご案内
～ ヴォーリス記念病院 ～

ヴォーリス記念病院では、「地域の皆さまの健康生活に貢献できる病院」の一環として、地域に向いて『出前講座』を開催しています。
皆さまが知りたい、聞きたいと思われる内容について、当院職員が講師として伺います。ぜひご利用下さい。

- ◆対象: 近江八幡市内の地域住民による団体・グループ、学校など
※企業、医療機関及び介護保険施設等の職場研修は実施しておりません。
- ◆費用: 無料です。
- ◆開催日時: 日、祝日を除く、9時から17時まで。
- ◆申し込み方法: 電話により希望日の2か月前までにご相談下さい。
開催が決定したら、正式に申込書をご提出頂きます。
業務の都合によりご希望の日時、講座に添えない場合もあります。予めご了承下さい。



お申込・お問い合わせはこちら >>> TEL: 0748-32-5211(代表)
FAX: 0748-32-2152

◎ホームページでもご覧いただけます。 <http://www.vories.or.jp/>
公益財団法人近江兄弟社 ヴォーリス記念病院 経営企画室まで